

● 収支計算書(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
 (単位:円)

収入の部	予算額	決算額	差異
1. 本部より助成金収入			
(1) 支部総会開催通知費	135,000	136,638	-1,638
(2) 支部運営助成金	215,000	218,000	-3,000
2. 支部会費収入	500,000	486,000	14,000
3. 果実収入	1,000	111	889
収入合計	851,000	840,749	10,251
前年度繰越額	1,949,138	1,949,138	0
合計	2,800,138	2,789,887	10,251
支出の部	予算額	決算額	差異
1. 事業費			
(1) 学生団体助成金	30,000	0	30,000
(2) 地域支部交流費	200,000	0	200,000
(3) 寄付金(災害学生支援)	1,000,000	1,000,000	0
(4) その他事業費	250,000	0	250,000
2. 広報費			
(1) 支部会報発行費	360,000	339,178	20,822
(2) 広報関係費	20,000	6,301	13,699
3. 運営費			
(1) 支部総会費	135,000	193,355	-58,355
(2) 役員会費	10,000	0	10,000
(3) 監査委員会費	10,000	0	10,000
(4) 委員会費	10,000	0	10,000
(5) 業務費	10,000	7,803	2,197
(6) 事務費	40,000	51,375	-11,375
(7) 慶弔費	30,000	30,158	-158
4. 積立金	0	102	-102
合計	2,105,000	1,628,272	476,728
当年度収支差額	-1,254,000	-787,523	-466,477
次年度繰越額	695,138	1,161,615	-466,477
合計	2,800,138	2,789,887	10,251

現役生寄稿

コロナ下での学生生活

法学部4年 菅 未紗希

1年生の頃は夢に見たキャンパスライフに充実した日々を過ごしましたが、大学生活のほとんどが新型コロナの影響を受け、2年生からは蔓延防止措置によりオンライン授業となり、慣れないパソコンと格闘する日々が続きました。

3年生から始めた就職活動も様変わりし、インターンシップや会社説明会、採用面接もほとんどがオンライン実施となりました。移動時間がない分、一日に何社もの説明会や面接を入れ、効率よく多くの会社と接点を持つことができたのはメリットだったと思います。

友人たちと会えない状況の中での就職活動だったため、情報共有があまりできず、自分だけ遅れているのではと焦燥感でいっぱいでした。

現在は少し落ち着きを取り戻し、憧れていた駿河台キャンパスに通い、ゼミで学んでいます。学生生活は残りわずかですが、悔いがないように過ごし、来年からは明治大学で身に付けた力を活かして、社会人として貢献していきたいと考えています。



開催予定日 2023年1月31日(火)
 会場 秋田キャッスルホテル

詳細は、年明け1月に電子メールでご案内します。郵便でのご案内はいたしません。メールアドレスを登録しておられない方は、この機会に、秋田県支部ホームページの会員コーナーからお手続きをお済ませ下さい。校友限定のさまざまなイベント情報の提供に活用させていただきます。公開することはありませんので是非ご登録ください。



▼スマートフォンはこちら
 ▼パソコンはこちら
<http://meiji-akita.sakura.ne.jp/>

● 秋田県支部役員(2022-2024年度)

支 部 長	幹 事	幹 事
鶴田 有司 (昭和50年・経営)	佐々木 満 (昭和52年・商)	佐々木 満 (昭和52年・商)
幹 事 長 大坂 良宏 (同52年・経営)	東海林 洋 (同53年・法)	東海林 洋 (同53年・法)
副 支 部 長 乳井 宏資 (同37年・政経)	進藤 勝美 (同54年・商)	進藤 勝美 (同54年・商)
佐々木 章 (同55年・商)	小林 科樹 (同54年・商)	小林 科樹 (同54年・商)
打川 敦 (同56年・商)	小松 伸 (同54年・商)	小松 伸 (同54年・商)
蓮沼 千佳子 (同57年・文)	桜庭 誠 (同56年・工)	桜庭 誠 (同56年・工)
相場 修 (同60年・政経)	山崎 義裕 (同56年・工)	山崎 義裕 (同56年・工)
新出 康史 (同60年・政経)	米屋 美生夫 (同56年・商)	米屋 美生夫 (同56年・商)
工藤 千里 (同61年・法)	高 浩 (同59年・商)	高 浩 (同59年・商)
齋藤 登則 (同61年・商)	三ツ倉 秀人 (平成元年・商)	三ツ倉 秀人 (平成元年・商)
三浦 正博 (同62年・商)	平川 利晴 (同2年・工)	平川 利晴 (同2年・工)
赤川 早人 (平成8年・経営)	遠田 博士 (同2年・経営)	遠田 博士 (同2年・経営)
佐々木 貴徳 (同10年・法)	川本 英樹 (同2年・政経)	川本 英樹 (同2年・政経)
林 徳彦 (同15年・理工)	稲葉 隆 (同3年・農)	稲葉 隆 (同3年・農)
大淵 宏見 (昭和54年・商)	山本 茂毅 (同4年・法)	山本 茂毅 (同4年・法)
大友 聡 (同57年・政経)	白川 雅浩 (同4年・商)	白川 雅浩 (同4年・商)
菅原 竜代嗣 (同58年・工)	金子 敬司 (同4年・経営)	金子 敬司 (同4年・経営)
副 幹 事 長 廣田 睦子 (平成16年・法)	坂口 佳一 (同5年・政経)	坂口 佳一 (同5年・政経)
事務局長 加藤 千秋 (同20年・文)	杉山 竹晴 (同7年・法)	杉山 竹晴 (同7年・法)
事務局次長 真田 恭子 (同22年・情報)	山中 文彦 (同9年・商)	山中 文彦 (同9年・商)
副 幹 事 長 遠藤 欽一 (昭和35年・法)	佐々木 仁 (同10年・法)	佐々木 仁 (同10年・法)
幹 事 鶴田 悟一 (同37年・経営)	加藤 圭輔 (同14年・商)	加藤 圭輔 (同14年・商)
三ツ倉 和雄 (同38年・商)	奈良田 鮎子 (同18年・政経)	奈良田 鮎子 (同18年・政経)
木村 友勝 (同39年・農)	石塚 伸宏 (同21年・商)	石塚 伸宏 (同21年・商)
打川 猛 (同39年・農)	佐々木 貴寛 (同24年・経営)	佐々木 貴寛 (同24年・経営)
長門 靖彦 (同40年・経営)	加藤 結 (同24年・文)	加藤 結 (同24年・文)
大津 勝召 (同43年・法)	加藤 築 (同25年・経営)	加藤 築 (同25年・経営)
澤田 祐治 (同43年・商)	木村 匠 (同26年・理工)	木村 匠 (同26年・理工)
菅原 道雄 (同44年・経営)	金子 雄太 (同26年・法)	金子 雄太 (同26年・法)
松江 正和 (同48年・経営)	山中 寛人 (同28年・政経)	山中 寛人 (同28年・政経)
松尾 由美子 (同49年・文)	佐藤 康大 (同29年・政経)	佐藤 康大 (同29年・政経)
大地 進 (同52年・政経)	今林 壮貴 (令和4年・商)	今林 壮貴 (令和4年・商)

編集後記

明治大学校友会 秋田県支部の皆様、会報第32号をお届けします。

今回の編集チームは結成されたばかり、未経験者ばかりで、拙い部分もありますが、力を合わせて作りあげました。対談では「同窓でも、世代が違えば学生生活も随分と違うのだなあ」と感心しきりでした。これにα世代も加われば…ついでにいけなくなるのか、新たな歴史の融合が生まれるのか、今後に期待です。

校友会の皆様、どうか最後まで読んで頂き感想をお寄せください。今後とも校友会 秋田県支部を宜しくお願い致します。

佐々木 貴徳
 (平成10年法学部卒)



支部長あいさつ

明治大学校友会 秋田県支部長
 鶴田 有司

新型コロナウイルスに翻弄されたこの2年間は、学生さんも辛い厳しい日々を過ごしてこられたと思います。最近になって徐々にではありますが、経済、社会活動がコロナ前に戻りつつあるように、大学においてもアフターコロナを見据えた動きが出てきているようです。

さて、支部総会は今年もオンラインによる総会とさせていただきます。一堂に会することができなかったことは本当に残念ですが、校友の皆様には日頃からのご協力に改めて感謝申し上げます。

大学からの近況報告によりますと、今年の入学志願者数が、2年ぶりに10万人を超えました。母校の人気の高さにOBの一人として喜ばしく思います。昨年創立140周年

を迎えた母校は、記念事業の一環として和泉校舎に整備していた「和泉ラーニングスクエア」が今春完成しました。生田校舎は2025年には、先端研究の拠点として大きく変貌を成し遂げる見込みです。母校の更なる発展に期待は膨らむばかりです。

総会で説明させていただきましたが、来年9月2日には「明治大学マンドリン倶楽部秋田公演」を開催いたします。会場は、今年9月にグランドオープンしたあきた芸術劇場ミルハス大ホールです。約2,000人を収容、音響効果も抜群で高い評価を得ているミルハスでの公演は素晴らしいものになると確信いたしております。間もなく準備に取り掛かります。公演の日を楽しみにお待ちしております。

今後とも支部の活動に、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

寄稿

「半世紀前の記憶」

佐々木 章

(昭和55年商学部卒・グリークラブ卒)

1978年12月明治大学マンドリン倶楽部「古賀政男追悼演奏会」に、私が所属していたグリークラブ(男声合唱団)が賛助出演した。我々グリーメンは不世出の国民的名歌手藤山一郎氏の独唱のバックコーラスを務めたのだが、この時の藤山氏の素晴らしい歌唱は勿論、腰の低い振舞には感動した。名曲「影を慕いて」「丘を越えて」をこの大御所とご一緒できたことは私にとって一生の宝物となったのである。

それにしても当時のマンドリン倶楽部は女人禁制だったと記憶しているが、我々グリークラブも男声のみの合唱団で、ステージは男性一色で所謂質実剛健を絵に描いたようなものであった。現在のマンドリン倶楽部は半数が女性

となり隔世の感があり、より繊細な色彩が増したと思われる。

今般ミルハス(あきた芸術劇場)での明治大学マンドリン倶楽部の演奏会が実現する運びとなったことで、ほぼ半世紀前の「青春の感傷と情熱の響きを感じられる」演奏に、新しくインパクトのある音色が加わった名演を期待する今日この頃である。

※当時の音源がyou tubeで残っているので興味のある方はこちらをどうぞ。
<https://www.youtube.com/watch?v=EpK6t8eiDCc>



明治大学
 マンドリン倶楽部
 秋田公演



日時: 2023年9月2日(土)
 15時開演

会場: あきた芸術劇場大ホール
 「ミルハス」

詳細は秋田県支部ホームページに掲載します。



スマートフォンはこちら▶

▼パソコンはこちら
<http://meiji-akita.sakura.ne.jp/>

会場
 待ってるよ!





あの頃、何してた?!

先輩と後輩の思い出対談

20~40代の明治OBが集まり、昔と今を行ったり来たりしながら座談会を行いました。本当は、もっと大人数で!もっと年代を幅広く!もっと密な内容で!行いたかったのですが…早くコロナが終息しますように。

対談メンバー



佐々木さん

40代・氷河期世代。法学部。秘伝タレ仕込みの美味しいお肉で秋田県民の胃袋を掴んで離さない2代目社長。



加藤さん

30代・ミレニアル世代。経営学部。家業を引き継ぐため帰郷した未来の3代目。特技は顔を見ただけで骨密度を当てること…らしい。



今林さん

20代・Z世代。商学部。今年の春に大学を卒業し、最初の赴任地が秋田市という最強運の持ち主。埼玉県出身で秋田市在住9か月目に突入。

それぞれの世代を紹介



激動の世代です。留年も沢山いました。(編集注:佐々木さんの4年次は法学部600人中200人が留年して話題になったそうです。通称『地獄の法』とか)



私は高校3年でリーマンショック、大学在学中に東日本大震災が起こりました。円高で1ドルが79円まで進んだり…。友人との連絡はメールからmixi、Facebook、Twitter、LINEとどんどん変わっていきました。



私はなんと言ってもコロナです。大学後半の2年間はオンライン授業が多くなり、お茶の水に行ったのは数回です。



みんなそれぞれ、激動の時代だね。



世代間で大きく違うことといえば…女子学生の数かな。昔は本当に少なかった!(笑)



和泉校舎(昭和51年度卒業アルバムより)



駿河台キャンパスリバティタワー内の学食(令和4年加藤さん撮影)

勉強編



今は成績が優・良・可じゃないんだって?



優良可って、単語だけは聞いたことがあります。今はS(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)ですね。C以下は落単です。



今の学生は真面目だね。私は飲むことばかり考えていたから、ゼミの内容より居酒屋の記憶が…。でも試験は難しかったから、勉強はしたんだろうなあ。ゼミ卒生の中で70名が弁護士だよ。



私が所属していたグローバル・マーケティングのゼミではTOEIC700点を取得しないと除ゼミという扱いでした。同期12名のうち10名が海外と関わる仕事をしています。



私は商学部だったので2つのゼミに所属しました。授業は英語で、発言しないと出席にならず、大変でした。Jリーグの研究をしていました。



商学部で英語でJリーグ???



Jリーグが好きだったんで…(笑)

衣食住編



風呂・トイレ無しのアパートって、知ってる?



存在は知っていますが、友人に住んでいる人はいなかったです。私の頃は銭湯もなかったんで…。



風呂・トイレ無しだと、共同の風呂とトイレだから、そこで知り合いになってお酒を飲んだりもするんだよ。電気とガスが順番に止まってしまうのも経験したなあ。水道が止まるのは一番最後のよ。



カルチャーショックとかありました?



上京する時、スーツを森長で買ったんだけど、東京の友人に話したら「森長って何?」って言われてさ。それがすごくショックだったね。森長は全国区だと思ってたから。メガネも、みんなが「眼鏡の平川」で買ってると思っていたし…。東京では森長も平川も、誰も知らないんだもん。驚いたなあ。



そもそも明治は地方出身が多いと聞いていたのに、その地方ってほとんどが埼玉・千葉・神奈川だと知ったのは、入学後しばらくしてからですね。



師弟食堂は美味しかった。



リバティタワーになってからは景色は良いですが、味は“可(C)”ですね。3倍盛りカレーがあったので、3人で食べて食費を浮かせていました。



残念なのはキャンパス周辺の御飯処がコロナ禍で潰れてしまったことだね。居酒屋も少なくなったよね。そういえば、大学生の時は、東京の居酒屋で秋田のお酒なんて出ていなかった。東京で覚えた酒はウイスキー。秋田に戻ってきてからだね、「秋田の酒はうまい!」と感じたのは。



私なんてお酒を飲まない世代なので「ピッチャー」って単語を知らなくて、ビールのブランドだと思って注文して凄く恥をかきましたよ。



私の時代は1人1杯ずつピッチャーを頼ってたな。(爆)



私の頃から乾杯は「とりあえず生」ではなく、「私はカシスオレンジ」みたいな人も増えていました。

就職活動編



非常に厳しく辛く、アナログのみ。(編集注:アナログ=資料請求から応募までを手書き&郵送で行う)



私の時は応募がWEBですが、履歴書はまだ郵送で、100社くらいエントリーが普通でした。



私たちが数十社受けるのが普通でしたが、「最終面接まではZOOM面接」がほとんどでした。中には最終面接すらオンラインという会社もありましたよ。



そうやって就活をして、最初の赴任地が秋田だなんて、ついてるね!



そうですか?まだ、きりたんぼを食べたことがないんです。



東京の店で出しているのをきりたんぼだとは思わないでね。東京には似て非なるものが跳梁跋扈しているから。



大学時代、セリの根っこは美味しいと東京の友人に話したら、原始人か?と馬鹿にされたなあ。



根っこですか…。きりたんぼはまだ食べていないので是非食べたいです。



秋田に配属された人は皆太って帰ったから覚悟してね(笑)

新企画の座談会はいかがでしたか?盛り上がりすぎて、掲載できない内容が多かったとか…。皆様からリクエストがあれば、定石企画になるかもしれません。ご意見・ご感想をお待ちしております!

3代目(旧)記念館(昭和51年度卒業アルバムより)

駿河台キャンパス リバティタワー(令和4年加藤さん撮影)

